

5

福島県西白河郡中島村

中島村立中島幼稚園

■クラス数 / 7クラス
(内預かり保育1クラス)

■幼児数 / 147名

■建築主 / 中島村

■所在地 / 西白河郡中島村大字滑津字
二ツ山28-2

■敷地面積 / 5,121㎡

■建築面積 / 1,739.29㎡

■延床面積 / 1,469.84㎡

■構造・規模 / 木造 地上1屋建

■施工期間 / 2004年6月～2005年2月

※クラス、幼児の数値は平成22年3月末現在

教育方針

- 友達と仲良く遊べる子ども
- 自分のことは自分でできる子ども
- 健康で明るくたくましい子ども

豊かな遊びや学びを通して「生きる力」の基礎を培って環境の整備とどんな場所でも、のびのびとした豊かな遊びが展開できる施設づくりを行なっています。

木のぬくもり溢れた多様な活動を生み出す空間。

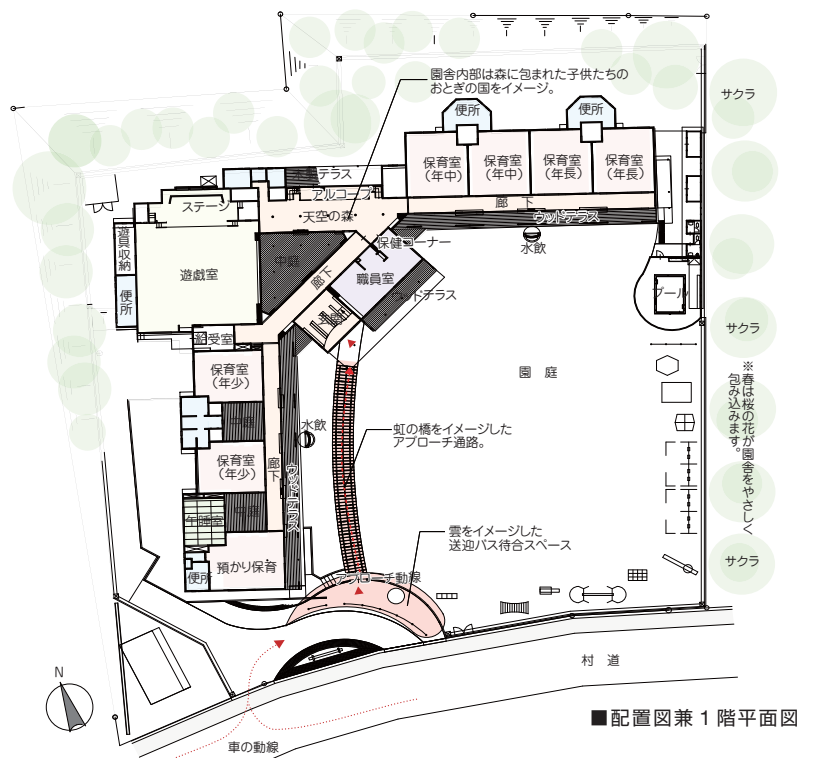
ぬくもりのある木をふんだんに使い自然のやすらぎが感じられ、ロッククライミング場もある室内空間。「生きる力」の基礎を培う子どもを育てる、工夫に富んだ屋内施設、長時間の預かり保育ができる保育環境。



緑にかこまれた園舎とメインアプローチ

計画に見られる 指針改訂のポイント

1. 多様な生活体験が可能となる環境の提供
2. 家庭や地域と連携した施設整備の充実
3. 環境面からの持続可能性への配慮



■配置図兼1階平面図

多様な生活体験が可能となる環境の提供

└ 興味・関心に応じた活動のための屋内空間の多様性



1 木のぬくもりがあふれる園舎内部



2 運動したり読書したりできる空間構成



3 興味をかき立てるのぞき窓



4 中庭で遊ぶ年長組の幼児たち

園長の視点から

寒い冬にも元気に活動できる 室内空間

この地方は冬が寒く子どもたちは外で自由に遊べません。健康で元気のある幼児の体力向上のために、屋内空間での活動を多様化させています。のびのびと走り回れるように軒の深い中庭や長い廊下、腕力や脚力、バランス感覚などを発達させるために、ロッククライミングや木登りの施設を配置しています。(写真1、2、4)

友だちとふれあいながら ふくらんでいく本の世界

絵本広場は、木のぬくもりとやさしさに包まれながら、絵本を通じて想像力を育む空間です。園舎に気軽に本を読める空間を配置することで、友だちとおしゃべりを楽しみながら一緒に絵本を読むことができ、子どもたちの世界はより豊かに広がります。知育・体育の環境の場を隣接させることで、子どもたちの興味や関心をさらにふくらませます。(写真2)

変化に富んだ空間が 好奇心や想像力を刺激

廊下と保育室の斜めに交差する筋交いが子どもたちにとって不思議で楽しいリズム感をつくりだしています。壁に開いたいくつもの小さな覗き窓に、子どもたちは興味津々です。こうした変化に富んだ空間のしつらえは、子どもたちのしなやかな感受性を刺激します。そして、旺盛な好奇心を目覚めさせ、想像力の翼を大きく広げていきます。(写真1、3)

家庭や地域と連携した施設整備の充実
↳ 預かり保育のための空間



5 長時間の預かり保育に対応



6 お昼寝タイムの様子



7 入学前の年長組は、午睡をとらずに保育室から直接移動できる園庭で外遊び

園長の視点から

午睡室の設置など
預かり保育の環境も充実

地域のニーズに応じて、畳の上での午睡室を用意するなど、預かり保育の環境整備に力を入れています。小学校入学前の幼児には3学期から習慣づけのためにあえてお昼寝時間をなくすなど、運営面からの配慮も行っています。通常の保育と預かり保育を両立させるために、家庭的な雰囲気をつくりだせるよう、カーペット敷きの空間整備や玩具の提供も行なっています。

全職員12名のうち預かり保育担当を4名とし、午前7時30分～8時30分と午後1時30分～6時の時間帯で69名が登録しています。保護者が安心して働けるように、子育て支援の充実に努めています。特別支援教育については、専門家と保護者との相談の上で受け入れを判断しています。(写真5～7)

〈設計者の視点から〉

◎送迎バスの待ち合いスペースから園舎までは、運動不足解消や雨や雪対策として「虹の橋」と呼ぶ屋根付きの長いアプローチを設け、幼稚園を楽しみ異空間として誘っています。園舎内は木をふんだんに使用し自然環境を再現しながら、木登りやロッククライミング、読書など多彩なプログラムが行えるよう設えています。
(外観写真、写真1、2)

◎子どもにも興味や関心を持たせるために、形状に変化を持たせ幼児の身長に合わせた様々な高さののぞき窓を

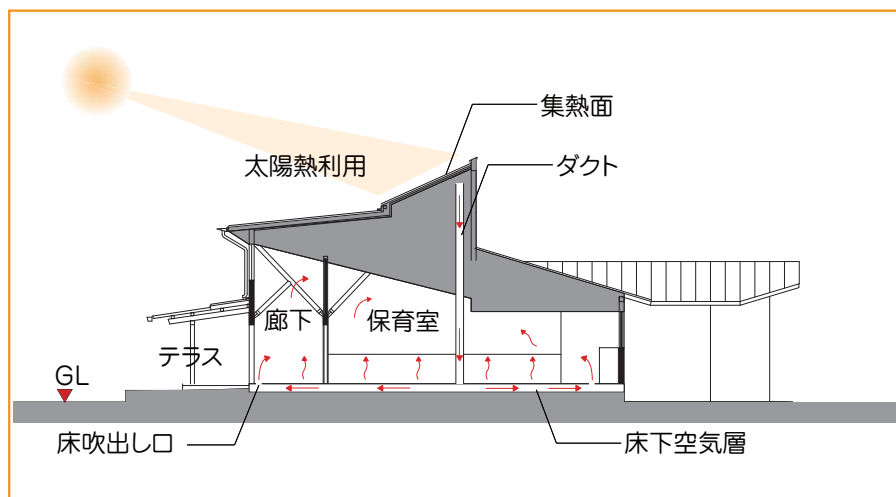
環境面からの持続可能性への配慮 └ 太陽の熱と光の効率的な利用



8 太陽の熱と光を効率的に利用する



9 太陽光を取り入れるハイサイドライト



10 太陽熱の効率的な利用のしくみ



11 床吹き出し口

検討委員会委員の視点から

多様な生活体験が可能となる 環境の提供の観点から

幼児の身体的な発達を促すよう、ロッククライミングや木登りができたり、天井が低くなったのぞき窓のあるアルコーブがあったりと、多様な動きが経験でき、多目的で変化のある空間が実現されている。

家庭や地域と連携した 施設整備の充実の観点から

午睡等の専用の室があるなど、「預かり保育」のための活動に適切に対応できる計画となっている。午睡室は、年中や年長の保育室とは離れた場所に設けられており、静かな環境が形成されている。

アルコーブに設置し、幼児の好奇心を高めています。(写真3)

◎太陽熱や太陽光の利用で環境にやさしいエネルギー交換を行えます。屋根に設置された集熱盤が熱せられた空気を作り、その後ダクトを通り床下の空気層へ送られ暖房に活用されます。木造平屋のハイサイドライトは、冬季は太陽の光が園舎に降り注ぎ、夏季は風を呼び込み、一年を通して園舎内を快適な環境にします。(写真8、9、11、図10)

(設計/辺見美津男設計室)